市報
昭和63年
10月9日
第1128号
にいがた
発行日 毎週日曜日　発行所 新潟市役所 〒951 西堀通6-866　編集 企画部広報課　印刷 ㈱第一印刷所

市の人口（8月末現在）
人口 473,569人
男 230,042人
女 243,527人
世帯数 157,778世帯

新市庁舎の壁画 原画応募に65点
16日から受賞作品を展示

来年八月に完成する新市庁舎のアート（美術）作品設置の一つとして飾る壁画の原画公募は、九月二十四・二十五の両日午後の搬入をもって締め切られ、市内外から五十人の作品、計六十五点が寄せられました。

県出身と県内在住者が資格の応募者の内訳は、市内在者が三十三人、市外からが十七人。県外は四人で、いずれも東京都在住者でした。男女別では、男性が三十二人、女性は十八人です。年齢、職業別にみても幅広い層から作品が寄せられ、最年少は五歳の幼稚園児、最高齢は七十六歳で、大学生や主婦、工芸家、イラストレーター、香港からの留学生などとなっています。

「新潟の人と自然」をテーマに寄せられた作品は、日本画、洋画、モダンアート調とさまざまで、日本海や夕日、万代橋、トキなど〝新潟らしさ〟を題材にした明るい色調のものが多く集まりました。

作品の審査は十月三日、新庁舎壁画審査委員会（小林力三会長、委員七人で構成）によって行われ、入選は市内海老ヶ瀬在住の会社員黒井修さん（㊂）の作品「飛翔・日本海」と決まりました。

佳作は次のとおりです（作品の受付順）。▽堀内菊二さん（㊄）＝東京都北区赤羽西、画家▽伊部紀昭さん（㊈）＝坂井砂山三、教員▽長谷川音松さん（㊄）＝三島郡与板町、いけばな教室主宰▽荒澤紀一さん（㊈）＝小針西二、高校美術講師▽渡辺信二さん（㊂）＝寺尾東二、漆工家

受賞作品六点は、十月十六・十八・十九日に市美術館の市民ギャラリーで一般公開されます。

入選作品は黒井修さんの「飛翔・日本海」

写真は、新市庁舎の壁画（縦3㍍、横8㍍、半径5㍍の曲面）になる入選作「飛翔・日本海」

作者・黒井さん評「太陽と日本海を上に、砂浜を下に配置して、太陽に向かって飛翔する人間（新潟市民の姿）を描いた。太陽を自然の代表としてとらえ、自然と人間との一体感を表すため、全体の色調を抑えて、太陽と人間を白で描いた」

看護婦などを募集
申し込みは11日から

◇募集職種 看護婦（看護士、准看護婦）または看護士免許を取得する見込みの人で、看護婦（看護士）に卒業する見込みの人で、助産婦、市立高等看護学校の専任教員

〈看護婦・看護士〉
受験資格 昭和三十三年四月二日以降の生まれで、次のいずれかに該当する人
㋐看護婦・看護士免許取得者
㋑保健婦助産婦看護婦法による看護婦学校または看護婦養成所を来年三月三十一日までに卒業する見込みの人で、看護婦免許を取得する見込みの人

〈助産婦〉
受験資格 昭和三十三年四月二日以降に生まれた女性で、次のいずれかに該当する人
㋐助産婦免許取得者
㋑保健婦助産婦看護婦法による助産婦学校または助産婦養成所を来年三月三十一日までに卒業する見込みの人で、助産婦免許を取得する見込みの人

○試験日（第一次）十一月十三日（日）
○試験会場 市立明鏡高校
○試験内容 筆記試験（教養・専門）、適性検査

〈市立高等看護学校の専任教員〉
受験資格 昭和三十三年四月二日以降に生まれた人で、次のいずれかに該当する人
㋐看護教員免許取得者で、臨床経験三年以上の人
㋑看護教員養成講習を終了している人、または来年三月三十一日までに終了見込みの人

○試験日 十二月三日（土）
○試験会場 新潟市民病院
○試験内容 面接、小論文
○試験案内・申込用紙 人事課（〒951西堀通六一八六六本庁舎二階）で差し上げます。郵送を希望する人は返信用封筒（あて先を明記し、六十円切手をはる）を同封し、請求する封筒の表に「案内請求」と明記して下さい。

◇申し込み期間 十月十一日から十月二十二日午前八時半から午後五時（土曜日は正午まで、日曜日は休み）※郵送による申し込みは十月二十二日の消印有効

申し込み・問い合わせ 人事課（内線246・247番）へ

郵便局でも請求できます

戸籍の謄・抄本　住民票の写し　年金の現況届け

今月から郵便局でも住民票の写しなどが請求できるようになりました。

郵便局でできる交付申請は①戸籍の謄・抄本②住民票の写し③年金現況届け――の三種類です。

手続きは、戸籍の謄・抄本と住民票については、請求者が郵便局窓口にある交付申請用紙に必要事項を記入し、返信用封筒、手数料と同額の定額小為替を同封してポストに投かん。市は配達された申請内容に応じ、必要書類を請求者に返送します。必要書類が手元に届く日数は請求日の約二日後になります。

なお、往復の封書切手代百二十円と、定額小為替の手数料十円は請求者の負担です。

年金現況届けは、現況届けのはがきに四十円切手をはり、郵便局窓口の封筒に入れてポストに投かん。市は現況届けのはがきに証明印を押し、受給者に代わって取り扱い官庁へ郵送します。ただし、恩給証明については有料です。

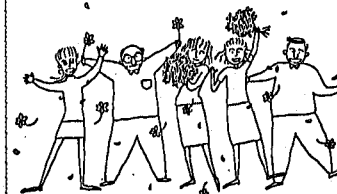
不正請求を防ぐため、戸籍の謄・抄本を請求できるのは、本人と配偶者、子供、父母、住民票と年金現況届けについては、本人と同居の家族だけにそれぞれ限定します。

記載内容に不備があると発行できないこともありますので、請求者の電話番号は必ず記入して下さい。

問い合わせ 市民課住民第二係（☎内線360番）へ

ひろば にいがた 秋号 Vol.33 発行

特集 ちょっと待ってください。上空から見てます。



「新潟は緑の少ないまちと言われますけど……」「ううん、緑がよく育つまちだよ」という訳で、今回は「緑」がテーマです。

お求めは、市役所・地区事務所・連絡所・市内の書店へ

交通安全市民大会
15日に開催

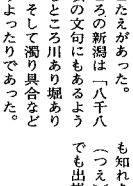
市と市交通対策協議会では、交通事故ゼロを願い、市民挙げて交通安全に取り組むため、交通安全市民大会を開催します。参加者には記念品を用意してあります。お誘い合わせのうえご参加下さい。

日時 十月十五日午後一時半～
会場 市公会堂
内容 大会宣言、記念講演・池政栄さん「国民性・県民性を語る」ほか

私の思い出 僕の夢 ⑰

新潟市制100周年 昭和64年

「魚たちは知っていた」



井原 末治さん

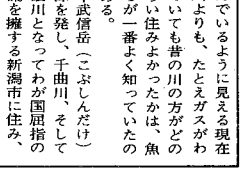
「なじらね、釣れるかね。えんこ堀で釣った魚は格別うまかろう」。

東港町の近くを流れる通称蔵敷川に釣糸を垂れていた私に、その町の長老が声をかけた。

昭和二十一年八月一日、命からがら満州から引き揚げ、間もなく東港町に世帯を持った。子供のころより無類の釣り好きだった私は早速近くの小川で釣りをしていたのであった。

長老に言われてみれば、なるほど、ガスがわいて出るのか、時折プクッ、プクッと泡が浮いてくる。それでも無数に小魚も泳いでいたし、ごくたまに釣れる魚も大小それなりに手ごたえがあった。

そのころの新潟は「八千八川」と唄の文句にもあるように、至るところ川あり堀あり、そして濁り具合なども似たりよったりであった。



澄んでいるように見える現在の川よりも、たとえガスがわいていても昔の川の方がどのくらい住みよかったかは、魚たちが一番よく知っていたのである。

甲武信岳（こぶしんだけ）に源を発し、千曲川、そして信濃川となってわが国屈指の長流を擁する新潟市に住み、こよなく幸せに思う。国の直轄事業として進行している西海岸の護岸工事が終了し、天然の釣り場などができたら立派な行楽地に生まれ変わるやも知れない。その時には、杖（つえ）を頼りに一日がかりでも出掛けたい。

（寿町1在住・69歳）

園芸センター会場催し物

★洋ラン講座「洋ランの一般的知識」
日時 10月13日午後1時15分～3時15分
定員 先着50人
申し込み きょう9日から電話で会場へ
★秋の園芸フェアー
日時 10月9、10日午前9時～午後4時半
内容 庭木・鉢物の即売会、盆栽展

會津八一墨蹟展

時場 10月23日まで午前10時～午後5時 會津八一記念館（西船見町）
内容 早稲田大学・會津博士紀念東洋美術陳列室収蔵品の一般公開
入場料 一般600円、学生・生徒300円
記念講演会
日時 10月9日午後2時～4時
場所 市美術館講堂 定員 先着100人
講題 「秋艸堂追憶」
講師 滝口宏・早稲田大名誉教授
問い合わせ 同記念館（☎222-7612）

住宅建築相談

日時 10月11、25日午前9時～午後4時
会場 市役所分庁舎5階501号室
相談内容 土地、建物などの購入に関する問題、新・増改築に伴う相隣関係など
問い合わせ 建築指導課（☎2228-5968）へ

電話案内

市役所・教育委員会	228-1000
体育課	229-6633
野球場・テニスコートの申し込み	266-8111
火災の場所を知りたいとき	224-1111
市民病院	241-5151
市民芸術センター	286-1034
東保健所	243-5311
石山地区保健センター	286-4450
鳥屋野地区保健センター	285-2373
北地区保健センター	259-7332
西保健所	266-5171
西地区保健センター	262-3405
坂井輪地区保健センター	260-3255
市医師会休日急患診療センター	231-4135
県歯科医師会休日歯科診療センター	283-3030
水道局	266-9311